

SSKU

No.83

落の会だより

八王子西局

料金別納
郵便

ハンドベルと手話コーラス (ふきのとう) (ひのき工房) 合同演奏会



落の会後援会総会後のイベント

低料第三種郵便

社会福祉法人 落の会

障害福祉サービス事業所

ひのき工房

就労継続支援 (B型)

生活介護

戸吹不燃物処理事業

〒193-0826

八王子市元八王子町2-1839-2

TEL 042(667)2158

FAX 042(667)2168

障害福祉サービス事業所

ふきのとう

生活介護

就労継続支援 (B型)

〒193-0834

八王子市東浅川町625-5

TEL 042(667)4158

FAX 042(667)9489

障害児通所支援事業所
地域生活支援事業所

ころぼっくる

放課後等デイサービス

認定短期・日中一時

〒193-0834

八王子市東浅川町629-1

TEL 042(666)5609

FAX 042(666)5619

障害福祉サービス事業所

ぽぷら八王子

就労継続支援 (A型)

就労継続支援 (B型)

〒192-0001

八王子市戸吹町2104

TEL 042(696)5090

FAX 042(696)5091

ふきのとう トピックス



伊豆熱川一泊旅行



絵画クラブ



運動会



福祉祭り



送迎車贈呈式



忘年会



編み物クラブ

★ころぼっくる トピックス★

◆今回のトピックスは、ほっとする一コマをご紹介します。

<日中一時>

- ・先日、おたよりにのっていた利用者が来所され、お父様より自分のことがのったお便りをずっと持ち歩いているんですよ！と言っていたきとてもありがたく、うれしかったです。職員冥利につきました。

<放課後等デイ>

- ・3月には6名の方が放課後等デイサービスを卒所されていきました。それぞれの児童が最後の利用日に挨拶をし、その姿は最上級生として立派でかっこよく、そして頼もしさを感じるものでした。また、最高学年を見送る子どもたちも「今までありがとう！」と気持ちの入った言葉を贈ることができ、卒所としての良い節目となったものの、職員は今までの思い出と共に寂しさも感じる日でもありました。

◆今、ころぼっくるの壁を彩っている造形を紹介します。



季節にあわせて、タンポポやこいのぼり、てんとう虫がたくさん！

よく見ると色んな模様が描いてあったり、色とりどりの紙が貼ってあったりしてそれぞれ個性豊かです。

色んな個性が集まる楽しい場所、ころぼっくるらしさが出ていると思います。

<目次>

1. 理事長あいさつ	4
2. 2018年度事業報告と2019年度事業計画	
1) 本部	5～8
2) ふきのとう	9, 10
トピックス	1
3) ころぼっくる	11, 12
トピックス	2
4) ぽぷら八王子	13, 14
トピックス	25
5) ひのき工房	15～16
トピックス	26
6) とぶきふねん	17
トピックス	26
3. 2018年度決算報告	18～20
4. 2019年度予算書	21
5. 後援会だより	22, 23
6. 薔の会への御寄附者名	24

表紙 “ひのき工房” と “ふきのとう” の合同演奏会

裏面 “ふきのとう” と “ひのき工房” で製作した木工製品の紹介

木工製品作りを通して大学との交流（福学連携）を進めよう！

理事長 岩澤六夫

八王子の障がい者施設で学生ボランティアさんを受け入れているところはいくつもあるようです。また、その学生さんが卒業して職員になり、その後施設運営の中核を担っているという話もあります。露の会でも、ずっと以前から法政大学の福祉学科の学生さんが、ころぼっくるの活動に参加していただいています。

ひのき工房では、数年前から拓殖大学の先生と共同研究している会社の社長さんが訪ねて来られ、ひのき工房祭りに出展していただくなど交流が始まりました。

しかし、今まではお互い時間など気遣い、“遠慮がち”の対応だったように思います。今年になって、工学部デザイン科のハメイ先生（メキシコ出身）からの呼びかけで3年生の講座に関わることになり、研究テーマの提案や材料のヒノキ材を提供することになりました。

講座の最初のオリエンテーションで、露の会の成り立ちや障がいのある人の木工製品作りの意味などお話をさせていただきました。

また、ひのき工房の木工担当リーダーからひのき工房の製品や利用者の作業やお祭りなどの販売風景を写真で説明し、学生さんの研究テーマの提案も行いました。そして、学生の皆さんが、私たちが投げかけた研究テーマのいくつかに取り組んでもらうことになりました。

大学の講座に関わることだけでも素晴らしいことですが、学生さんの提案された商品をひのき工房で利用者の皆さんと一緒にカットし磨いていく共同作業は初めてのことで、お互いに学びあい、刺激しあう素晴らしい交流になると思います。完成した製品は、ひのき工房祭りやいちょう祭りで販売し、売れば学生さんの喜びにもなるでしょう。

今年だけでなく、このような共同作業を、できれば毎年続けていきたいと思っています。また、単に新商品作りという成果だけでなく、これらの共同作業を通して、学生さん達に利用者の働く意欲や同じ人間としての存在を理解してもらえる機会になればと思います。そして、既に10年続いている城山小学校6年生の木工授業と同じように、この交流が継続していければと思います。

2018年度 事業報告

社会福祉法人 露の会 本部

1. 経営中長期計画について

第一次中計(2016~2021)は、2年が経過しおおむね計画通り推移していますが、それぞれの施設の将来構想についての議論はあまり深めることはできませんでした。

2. 人材育成のための研修会

支援レベルアップのために次のような本部研修を行いました。

- 1) 「利用者支援について」各施設代表6名発表 34名出席
- 2) 「インシデント報告会」各施設代表5名発表 32名出席
- 3) 支援の基本勉強会、外部講師 32名出席
- 4) 障害者が地域で生きていくために

外部講師、後援会主催 定員40名うち職員13名出席

各施設代表による発表は、いずれも職員が準備し、お互い他施設の現状や課題を知り、良い勉強会になった。外部講師による研修会は、2つとも内容が豊富でインパクトのある講義でした。また各施設代表による発表では、他施設の現状や取組がわかり“とても良い交流になった”という評価が多く聞かれました。期末賞与は、これらの研修会へのレポート、出席、発表、感想等の評価をメインに決めさせていただきました。

3. 賃金水準の改善

処遇改善助成金や各種助成金も本部でリードし、請求モレがないよう指導し、平均2%以上の賃上げを行うことができました。

4. 新たな地域貢献事業としての子ども食堂

一昨年末、地域の皆さんと一緒に立ち上げた子ども食堂は、この1年間、毎月事務局担当の食事提供(平均約90名)、ひのき工房担当のおやつ会(約10名)を実施し、ひとまず安定した運営が出来ました。子ども食堂は、地域社会で運営することになっており、露の会・ひのき工房は、運営のサポートをさせていただきました。従来からの集団回収、町会行事への積極的な参加、学校運営協議会への参加、木工授業の手伝いなどは今まで通り行い、小中学校の花壇の草取りは子ども食堂の毎月第2土曜日に1~2名で行い、地域交流に力を入れてきました。

5. 法人内の業務効率化

- ・運用に係る、共通業務の規程、細則の新規作成と改訂促進を行いました。
規程類の件数は、55件⇒57件。規程類の改訂数は、15件。
- ・インターネットセキュリティの改善
特に利用の多い“ひのき工房”のインターネット環境を改善しました。

6. 外部への情報発信

- ・各施設のhp構築のための人材育成(特にひのき工房)を行いました。
- ・機関誌、露の会だよりのカラー刷りなどリニューアルを行いました。
- ・露の会hpによる透明性の高い情報発信で、求人活動に貢献しました。
求人情報、法人研修情報、全規程の開示(表題のみ)、決算情報等

7. 施設環境の整備

- 1) 各施設から委員を選出し、第1回委員会(5/22)を立ち上げました。
各施設の視察(9/21)他施設見学は、初めての人が多く、環境だけでなく、利用者の働く姿に目を見張った。各施設の問題点、改善点など話し合った。
- 2) ふきのとう：トイレ増設、畳撤去工事 2月完了。
湧水、雨水排水管の詰まりの解消
- 3) ひのき工房：子ども食堂の床下浸水対策を実施。台風被害によるフェンスの改修。
植物図鑑作りのグループ活動開始(ひのき工房hp参照)
施設環境を豊かにするために、染井吉野、しだれ桜、河津桜をひのき工房、城山小学校、ふきのとう、ころぼっくるに植えました。
- 4) ころぼっくる：窓枠の修繕工事、及びシロアリ駆除の実施。

8. 法人設立20周年記念行事の準備

露の会は、2021年(令和3年)9月で、設立20周年を迎えます。何らかの記念行事をと委員選びと資料を集め始めましたが、殆ど次年度への持ち越しとなりました。

9. 施設運営の支援

- 1) とぶきふねんは、作業に熟練したメンバーも多いのですが、新しいメンバーも増え安全面や支援の仕方にまた課題があります。今年に入ってから毎週リーダーミーティングを開き、職員会議やリーダーミーティングも定例化するように指導してきました。
それぞれの場で、どんなことでも話し合うことによって、多くの課題を自分達で解決していけるようになると思います。
- 2) ぽぷら八王子は、草間工場長が2018年4月に、代った小野工場長も10月で退職されました。以降、木原施設長はじめ露の会のスタッフだけで頑張っています。
製品の品質第一の上に、1日に34,000個を生産し、その日のうちに納品するという大変な仕事をスタッフ、メンバー一体となつてこなしています。毎週水曜日の職員会議に出席して、スタッフ間の報連相やエフピコ(株)の担当取締役への報告などの相談にのっています。
- 3) ふきのとうは、皆が日常的に困っていたトイレ増の改修を行いました。業者選定や工事の進め方など施設長の相談にのりました。
- 4) ひのき工房。花木など植物に造詣の深い利用者さんを中心に「植物図鑑作りグループ」の活動開始を手伝いました。
- 5) ころぼっくるは、利用者支援の進め方等々についての提案や意見が通らないとの不満が生じたため、職員会議に理事長も出席するなどして、お互いの意見の調整を行っています。

10. 西日本豪雨災害支援カンパ きょうされん東京支部に振込10/5

義援金(円)	職員(人)	利用者又はメンバー(人)
174,839	49	71

※ひのき工房(とぶきふねん含む)、ふきのとう、ぽぷら八王子、ころぼっくるの合計

2019年度 法人事業方針

1. スタッフの支援レベル向上のための本部研修を続けます。

- ①外部講師派遣や外部研修会への参加で支援業務の研修。
- ②重大事故やインシデントを未然に防止するために気付きや感度を上げるための (KYT など) 発表・研修。
- ③施設見学や職員会議への参加の機会を作り、相互に良い点を学び合う相互交流。
期末手当については、法人研修、施設内外研修、自己研鑽等それぞれについて、評価した結果に基づいて支給することと致します。

2. 施設長を補佐し、担当部門の事業運営に責任もてる主任・リーダーを育成するための本部研修を行います。

- ①正確な報連相ができ、上司、スタッフ両方から信頼される。
- ②より良い支援が出来るよう日常的にスタッフを教育・指導する。
- ③安定した生産が出来る型替・調整ができ、スタッフに気持ち良く指示・指導・教育できる。
(ぼぷら八王子)
- ④安全で効率の良い選別・分別作業を気持ち良く出来るように根気強い作業指導が出来る
(とぶきふねん)
- ⑤各種申請書・調査書類・公的書類の作成は勿論、事業の収支改善等の企画・提案・実践が出来る。

3. 労働条件の改善

1) 働き方改革対応

- ①年次有給休暇の年5日以上の取得の義務化
- ②月60時間以上の残業の禁止と36協定による上限規制
- ③同一労働同一賃金に対応した規程の見直し

2) 賃金水準の改善

公的給付金は、今後も減額されていくと思われれます。(例：ひのき工房で、前年比約400万円減) このような状況で賃金アップを実現するには、処遇改善助成金をはじめ、キャリアアップ助成金、障害者雇用安定助成金、報奨金等各種助成金の漏れのない申請と確保が必須です。更に、就労支援事業の大幅な売り上げ増を実現し、利用者賃金のアップは勿論、必要経費も稼がねばなりません。これらの実現により、今年も2%以上の賃金増額を目指します。

3) 働きやすい職場をつくろう。

★ふきのとう開設 (H2年) 以来、第2ふきのとう、ころぼっくる開設など、まずは利用者が安心して過ごせる居場所やショートステイ作りを優先してきました。無一文からの出発でしたから多額の寄付をいただき施設作りを補いました。日常支援業務も多くのボランティアさんに依存していたため、スタッフの労働条件の改善の余裕はありませんでした。

★利用者の働く場として、とぶきふねん (一般就労) や、ぼぷら八王子 (就労継続A, B) を作り赤字の施設を助けあいながらも最近になって法人全体として、少しずつ安定した運営に近づきつつあります。そして、ようやく最低だった労働条件もここ数年平均2%以上の賃上げを続け、規程等も整備してきました。

★このようにギリギリの予算で、まずは利用者の安心・安全の運営に苦勞してきた施設長以上の役職員と最近入職した若いスタッフの皆さんとの間には、大きな意識のズレもあり、そこから相互の疑念や不信、そしてストレスが生じているのではないかと思います。法人の成立ちや現状を説明しながら、今後を担うべき若いスタッフの生の声を直接聞く場を設ける等、理解しあえる努力をしたいと思います。更に、職員相互のストレスもありますので、それぞれの施設内での課題として気持ち良い挨拶と徹底した報連相の取組みを進めていきたいと思っています。

4. 環境整備

- 1) 昨年発足した環境委員会による安全視察を今年も行い、良い面を学び、問題点を改善してもらいます。又、各施設の植樹等、心地よい環境作りも一歩進めます。
- 2) 今年は、ふきのとうが使い勝手の良くない1階和室等の大幅改修を行う予定です。利用者・スタッフにとって少しでも広く有効に使えるよう応援します。
- 3) ひのき工房では、利用者・スタッフによる植物図鑑作り班が活動を始めました。ホームページを見て感想などご意見下さい。

5. 地域貢献

社会福祉法人の地域社会への貢献が求められる中、本部は、ひのき工房とともに集団回収、小中学校支援、子ども食堂開設への支援等々この10年間実績を積み上げてきました。これらは今後も地道に続けていきます。

東浅川のふきのとう、ころぼっくると、戸吹町のぼぷら八王子、とぶきふねんも地域の夏祭りへの参加、施設周辺や河川の清掃など出来ることから1つ1つ確実に実施していきましょう。また、災害等非常時の飲・食料備蓄や障がい者・高齢者の一時避難など各施設で出来る事はなにか検討してもらいます。

6. 中長期経営計画

- 1) 2016年(H28年)に作成した第一次中長期(2016~2021)も3年目、後2年となりました。この2年は大筋では達成できるのではないかと考えています。
- 2) ころぼっくるは、再度原点に戻って利用者のための運営の限度や、それを支えるスタッフの限界を含めた検討を行い、運営の基盤固めをすべきだと思います。中堅職員の皆さんにも、ころぼっくるの存続のために責任のある提案を求めています。
- 4) 福祉予算削減の流れの中で、働くスタッフの労働条件を改善していくためになど、検討しながら第2次5ヶ年計画(2021年~2025年)の準備を行います。

7. 外部への情報発信

- ①法人運営の透明性確保のため、hpによる情報発信をタイムリーに行います。
- ②求職者に向けて、各施設の活動や研修の充実などアピールしていきます。
- ③全施設のhpが運営出来るように支援していきます。

8. 法人設立20周年記念行事の準備

今年は、各施設の担当者に今迄の活動の資料集めをお願いしていきたいと思っています。

2018年度 ふきのとう事業報告

ふきのとう施設長 清水 潤児

<2018年度総括>

今年度も例年通り利用者も休まず通所され、収支も安定しました。それにより利用者が必要としている道具の購入や行事費への還元、また職員を増やし支援力を強化することができました。施設の在り方としては、利用者にとっての社会参加の場であり、居場所のような存在であることを前年度より継続してきました。

日々の活動では、生活介護を主体にその他、洗い物、電話のとりつぎなど日常生活に必要なとされるスキル向上を目指す支援などを取り入れてきました。利用者の意志と笑顔を大事にし、一人一人が自分の個性を発揮できる環境づくりを目指しました。

2階のリフォームを施工しました。トイレ、洗面台の増設と作業スペースの拡張です。洗面台はだれでも使える洗面台に刷新しました。リフォームにより利用者が室内を自立移動できるようになり、トイレが増えたことにより待つことによる体や精神的負担が減りました。

共同募金の助成金で送迎車を新しく購入しました。リフト車が3台になることにより、車椅子の利用者も乗れる車が増え送迎がスムーズになりました。

1) 生活支援

利用者と共に各個人に合わせた支援計画を作成、内容を職員で共有し、チームでより適切な支援を目指しました。食事や排泄の支援、バイタル測定、リハビリ訓練、整容など生活の質を高められるよう努めていきました。適宜ケース会議を開き利用者の心身の状況変化を把握、情報を共有し、支援の方向性を検討しました。

クラブ活動ではハンドベルクラブが前年度より更に充実しています。利用者の方々の集中力の高さがレベル向上につながっています。福祉まつり、いちょうホールでのライブも好評でした。絵画クラブは日々の成果をカレンダー作成に集大成しました。他にも料理クラブ、園芸クラブ、障害者運動の会とそれぞれ充実していました。

2) 就労支援

各個人に合わせた作業を提供しました。座席の位置を工夫し自助具等の作成に努めました。

時間はかかりますが、利用者が作ったものにこそ価値があると考えます。

- ・主な受注先：はちべびギフト、おもちゃ美術館、KURUMIRU
- ・主な出店先：特別支援学校、わたぼうし祭、わくわく祭、いちょう祭

<地域との交流>

災害時には一時避難場所として、また高齢者の方など数名であれば受け入れ可能な施設としての体制を整えました。引き続き日々の施設周辺の掃除、リサイクル回収などで近隣の方々との関係を深めていきました。

<研修>

法人内研修～ふきのとうでの口腔ケアの事例を研究発表し、それにより口腔から食事を摂る大切さと理解を全職員で深め、現場での支援に活かしました。

インシデント研修では、利用者が移動する際に起こるヒヤリハットを発表しました。職員に施設内外でのリスク管理意識が高まり、声掛け、観察力が向上しました。

2019年度 ふきのとう事業計画

ふきのとう施設長 清水 潤児

I. 事業運営方針

- (1) 藤の会の理念に基づき、利用者の社会参加の場としての役割を大切にし、安心して楽しく過ごせる施設を目指し、利用者が主体的に活動できる体制を整えます。
- (2) 生活と仕事のバランスを考慮しながら、利用者の心身状態を第一に考え、個々に見合った生産活動をしていきます。利用者が作った物にこそ価値があります。
- (3) 職員の資質向上の為、法人内外の研修に参加します。日常生活動作が向上できる施設環境を目指します。利用者を取り巻く環境をソフトとハードの両面から整えます。
- (4) 地域に開かれた施設をつくっていきます。

II. 事業内容

(1) 生活介護と健康管理

- ① 本人の意思を尊重し、個性を發揮できるようサポートしていきます。安心して過ごせる居場所作りをします。月1回、利用者による月例ミーティングを実施し主体性を高めていきます。
- ② 利用者の生活支援を優先にし、日常生活動作の維持・向上に向けた支援に取り組んでいきます。日々の職員朝礼や1日の振り返り、モニタリング、アセスメントを繰り返し、支援会議を開き本人と家族などチームで課題を克服していきます。
- ③ クラブ活動・行事は利用者主体で行っていきます。ハンドベルクラブや絵画クラブではセラピー効果を兼ね、心身機能の向上を目指していきます。
- ④ 嘱託医の定期診察を実施し、医師の助言を日々の生活介護に活かしていきます。月に1回、歯科衛生士による口腔機能向上に向けた指導を受けています。指導を食前の口腔体操、食事形態の工夫、食後の口腔ケアに活かしています。

(2) 生産活動

木工作业では、利用者がスムーズに開始できるよう準備します。また、それぞれ利用者の強みを活かした作業を見出し、個々に合った自助具を開発・作成していきます。

(3) 地域との交流及び連携

- ① 三田町会の祭りや防災訓練に参加し、地域に根差した施設をつくと共に、日々の施設周辺の清掃や雪かきなど、地域で信頼される施設を目指します。
- ② 災害時には、近所の避難所的な役割を担っていきます。
- ③ リサイクル回収で地域・家族との関りを深めていきます。

III. 環境整備

(1) 日常的な環境整備

整理整頓を常に行い、作業の効率化、事故防止に努めていきます。室内空調に配慮しインフルエンザ等の予防に努めます。机や椅子・手すり、介護物品など消毒液で清掃し感染予防に努めます。

(2) リフォームによる環境確保

1階の部屋の配置替えをし、誰もが安心して使用できる静養室にリニューアルにします。プライバシーを確保した相談室設置に向けたリフォームも視野に入れています。

IV. 防災対策

年2回、火災・地震訓練を実施しています。災害時に備え食料などの備蓄を行っていきます。

V. 職員間の連携強化

毎週の職員会議・毎月のケース会議(短時間職員も参加)を継続していきます。情報共有(報連相)の徹底を図り、出席できない職員にも内容等を伝え全職員でチームとしての支援を実践していきます。

2018年度 ころぼっくる 事業報告

ころぼっくる施設長 秦 淳一郎

<2018年度総括>

- ・2018年度は、「放課後等デイサービス」が4年目を迎え、保育の質の向上に職員一丸となって、取り組みました。また、利用登録者数も増加し、日々、保育の組み立てに試行錯誤しながらも、子どもたちにとって、何が今、必要なのかを考え、子どもたちと向き合う日々となりました。今年度の特徴として、集団あそびを数多く取り入れ、子どもたちはその中で集団性を学び、あそびの質も仲間との楽しさ、仲間と共にという意識の芽生えが感じられる年となりました。
- ・日中一時支援、認定短期入所は、各々の利用者がころぼっくるで行いたいことができる居場所を保障しつつ、定期的に利用され曜日ごとに出会う顔ぶれが一緒になる方は、相手の名前を呼んだり、お互いの好きな歌を一緒に歌ったりと楽しさと居場所が両立したものとなっていました。
- ・職員教育においては、法人内研修、施設外研修により新たな見識を学び、施設内では、実技演習、虐待防止研修等を実施してきました。様々な研修を通す中でそれぞれが自らの振り返りに多く繋げることができた研修となりました。
- ・関係機関の連携については、利用者の状況を家庭支援センター、支援学校、支援学級、作業所と共有し、制度上に関わる事柄については、八王子障害者団体連絡協議会と連携し、八王子市福祉課に現場の状況、制度上における矛盾点等を伝えていきました。

<2018年度実績>

① 放課後等デイサービス

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	221	226	335	241	196	220	241	230	179	193	221	242	2,645
人数	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	36	36	412

② 認定短期入所事業 (八王子市在住の方を対象とする) 月当たりの支給量5日/月

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	73	61	76	65	45	41	54	59	58	36	49	42	659
人数	25	22	28	22	18	18	21	24	21	14	20	17	250

③ 日中一時支援事業 (八王子市・日野市在住の方を対象) 月当たり支給量5.6時間

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
時間	484	386	439	413	355	383	370	315	320	287	304	336	4,392
回数	120	105	112	110	96	97	102	84	85	83	88	92	1,174
人数	31	31	32	28	28	28	25	26	27	26	28	23	331

2019年度 ころぼっくる 事業計画

ころぼっくる施設長 秦 淳一郎

事業所名	ころぼっくる
事業名	障害児通所支援事業 (1) 放課後等デイサービス 地域生活支援事業 (1) 認定短期入所事業 (2) 日中一時支援事業

1. 事業内容・事業目的

障害児通所支援事業

- ・放課後等デイサービス (八王子市在住の方を対象とする)
 1人ひとりの個性と集団で育まれる生活力を大事にし、継続性による変化を大切に捉え、ライフステージに必要な活動を取り入れ、様々な体験を通して、個々の感性を育むことを目的とする。

地域生活支援事業

- ・認定短期入所事業 (八王子市在住の方を対象とする)
- ・日中一時支援事業 (八王子市・日野市在住の方を対象とする)
 障害児(者)の日中活動及び宿泊の場を確保し、日常的に介助している家族の就労支援及び一時的な休息時間の確保を目的とする。及び障害児(者)の緊急一時保護を目的とする。

2. 事業運営方針

障害のある方が、住み慣れた地域でいきがいをもち、自分らしく生きることを確立できるように支援する。

- (1) 利用者とその家族が安心して利用できる環境を作る。
- (2) 利用中、一人ひとりの持つ能力を活かした生活ができるように支援する。
- (3) 地域の人たちと交流の機会を持ち、相互理解の場を持つ。

3. 具体的な取り組み

2019年度も、これまでの事業継続とともに、関係機関との連携を強化し、よりよい支援に向け内外の研修を通して、信頼と安心のサービス向上に取り組みます。

- ① 「利用者とその家族支援」
- ② 「関係機関との連携」
- ③ 「より質の高い職員集団を目指す」
- ④ 「地域との連携及び交流の継続」
- ⑤ 「環境衛生及び整備の徹底」
- ⑥ 「定期的な防災訓練の実施」

2018年度 ぽぷら八王子 事業報告

ぽぷら八王子施設長 木原 法子

1. 2018年度総括

- 1) A型メンバー9名、B型メンバー9名でH30年度はスタートしました。
H29年度に比べるとメンバー一人ひとりのやる気をどう引き出すか、また、それをどう「できる」に変えていくかが難しいと感じられる一年でした。この一年で何人かのメンバーが進路変更で利用をやめました。スタッフでの大きな変化は草間工場長と小野工場長がエフピコを退職されたことでした。11月からは、ぽぷら八王子は蒔の会の職員のみで日々の生産をしていくことになりました。
- 2) 生産に関しては、変わらず1号機は生産調整機として停止していましたが、小野工場長が1日36000個の生産を目標と設定し、その目標に向かって日々の生産を頑張りました。7月には土用の丑用の製品の生産が始まり70万個以上の生産数をあげることができました。これには、11月、12月はエフピコ様の柗山取締役がぽぷら八王子を訪問され、これからのぽぷら八王子のことを考慮し、一日の目標を33000個とされました。また、茨城の堀工場長が機械調整をするために来場され、機械の調子が良くなりました。良品効率の月99%の目標は難しかったですが、4ヶ月達成することができました。
- 3) メンバーのその他の活動としては今年もフロアホッケーの活動に力を注ぎました。6月にはフロアホッケーの長野の大会に合わせて一泊旅行を計画し、諏訪地方の観光も兼ねて楽しむことができました。しかし、月一回の練習では試合に勝つことが難しいと感じた一年でもありました。また、選手の人数を増やしたいと思いましたが、増やすことの難しさも感じた一年でした。
- 4) 安全衛生の面では災害ゼロで無災害記録を伸ばすことができました。衛生教育は月一回全体朝礼で行いました。冬場はインフルエンザやノロウィルスの予防について学んできました。一人ひとりの意識を高めるために、手洗いの大切さ、消毒の大切さには特に力をいれました。検温をした後には体温計を消毒することも一人ひとりに実施してもらいました。
- 5) 地域と関わるため今年も町会に属しましたが、行事には参加できませんでした。

2. 生産活動

生産活動 (毎月の出荷数と売上)

	4月	5月	6月	7月	
出荷数	677,950個	659,100個	722,930個	749,255個	
売上	2,416,216円	2,349,032円	25,576,523円	2,670,345円	
	8月	9月	10月	11月	
出荷数	621,580個	555,915個	689,560個	702,920個	
売上	2,215,311円	1,981,281円	2,457,591円	2,505,207円	
	12月	1月	2月	3月	合計
出荷数	680,295個	593,090個	604,025個	649,200個	7,905,820個
売上	2,424,571円	2,113,773円	2,152,745円	2,352,721円	25,623,314円

2019年度 ぽぷら八王子 事業計画

ぽぷら八王子施設長 木原 法子

I 基本方針

1. ぽぷら八王子に働くすべてのメンバー、スタッフがお互いを、人格をもった一人の人間として、認め合うことを基本とします。
2. スタッフはメンバーの立場に立った支援に心がけ、毎日気持ちよく、笑顔で安心して、意欲をもって働き続けられる職場づくりに努めます。

II 事業運営方針

1. 生産目標 1日 34,000 個 月目標 680,000 個 クレームゼロを目指します。
機械稼働時間が15分延長され17時15分まで稼働します。スタッフとメンバーが力を合わせ目標達成に向けて頑張ります。
2. 良品効率 99%を目指します。
最低でも6回の達成を目標とします。
3. 安心して、気持ちよく、意欲をもって働き続けられる職場をつくります。
スタッフの力量アップに努め、メンバーがぽぷら八王子で、毎日休まず仕事を続けられるように、支援できる力をつけていきたいです。
月一回のフロアホッケーの練習や年3回の試合は、メンバー中心のチーム作りをし、基礎体力作りも含めて行っていきたいです。選手の人数が増えるような行事を行います。
4. 地域とのつながり
戸吹町町会のお祭りや清掃活動に参加し、地域の方とのつながりをつくる年にしたいです。
5. 安全衛生と健康管理
2018年度に引き続き災害ゼロを目指します。2019年度もスタッフ、メンバーはヒヤリハット報告を行って、災害に対して意識付けをしていきます。危険予知トレーニングを行うことで、危険に対しても各自が少しでも予測できるように考える習慣を身に付けるようにしていきます。健康管理としては年一回の健康診断の実施とインフルエンザの時期には、全員に予防接種を行います。特にインフルエンザやノロウィルスが流行する時期には、メンバー向けに予防のための勉強会を毎月実施していき、予防に努めていきます。
6. 職員研修
研修を通し、ぽぷら八王子で毎日仕事を行っていく上で必要な支援を行える職員の育成を目指します。

2018年度 ひのき工房 事業報告

ひのき工房施設長 関 裕子

【30年度の成果】

1. 各事業で活気がみなぎる！ 利用者さんの活躍で売上増！

1) 生産活動年間売上 1, 800万円を達成 (前年度比約95万円増)

木工	リサイクル	霊園清掃	薪割	農園	お菓子・切手	その他	合計
440万円	551万円	518万円	102万円	38万円	81万円	88万円	1,818万円

2) 10年間の生産活動年間売上推移 (万円)

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
584	891	837	832	877	1,023	1,222	1,506	1,723	1,818

- 3) 就労B：利用者平均月額工賃(週1日以上通所の方、含ボーナス) 26,435円
- 4) リサイクル：古紙相場暴落のため大幅な売上減が見込まれたが、利用者・職員の頑張りもあり前年度の売上に近づけた。回収先でのマナーやチームワークを大切にした支援が利用者さんの成長にもつながり、1名の就労につながった。
- 5) 木工：利用者さんのバイス・磨き道具を改良し、作業環境を改善した。新規イベント出店や常設店を増やし新規開拓につながった。クルミル店(都庁・伊勢丹・丸井)のステーションナリー部門の新製品開発、はちベビギフト用木工品毎月100個製作は順調。在庫管理を強化、納品数を増やしたことで、委託店等(道の駅・高尾山・八王子駅からかてショップ)の売上が増加した。
- 6) 霊園清掃：利用者さんの作業種類を増やし、利用者・職員が協力し合い安全に実施できた。9月のお彼岸前の清掃が不十分だったため、作業方法を見直し分担制を取入れ効率よく進められるよう改善した。
- 7) お菓子作り：上期は施設内での販売を中心に作る楽しさを目的に進め、9月に保健所の営業許可証を取得、いちよう祭り等のイベントに積極的に参加。下期は自家農園野菜のパウンドケーキ作りにチャレンジ、種類を増やし、おいしいと好評をいただき売上を伸ばした。衛生面には十分注意を払い「クレーム0」を達成した。
- 8) 生活介護：2階木工作業では入浴セットの磨きがメインだったが、生活介護オリジナルの木工品作りにチャレンジ、利用者さんのモチベーションは上がりイーアス高尾の手作り作品展での初販売をたいへん喜んでいて。(カードスタンド・ペン立て等)
パソコン作業では、「ひのき工房便り」の写真選別・加工、記事等利用者さん中心で作成した。
- 9) 朝の全体ミーティング：作業連絡を職員に代わり、積極的に前に出て発表する利用者さんが大幅増。
- 10) 今井隆氏、本宮政吾氏の絵画が共に公募展に連続して入選・入賞を果たした。「第33回八王子市障害者文化展」奨励賞、「2019 パラアート TOKYO 国際交流展」「勇気のつばさアート展」入選。

2. 福祉関係機関と連携し個別支援を進めた！

グループホーム・相談支援事業所等と連携し利用者さんの個別支援を進めたことで、本人の成長につながるなど様々な面で良い方向にむかったケースが複数あった。

3. 地域交流・地域貢献を進めた！ 第10回ひのき工房祭りを実施！

城山小学校の木工教室、城山中学校の社会科体験実習、小中学校の花壇の草取りに協力した。
「子ども食堂」「おやつ会」では建物をお貸しし、調理・受付等で住民の方たちに協力した。

4. 職員研修・法人研修に積極的に参加！ 安全対策を実施！

本部の協力で蒔の会規程研修を実施。人員増のため送迎車1台増、全車にドライブレコーダーを設置。6月に職員の木工機械事故が発生、安全装置を取り付けるなど改善対策を行った。

2019年度 ひのき工房 事業計画

ひのき工房施設長 関 裕子

1. 事業方針

- 1) 私たちは、障害のある人たちが自分らしく自立し、主体性をもっていきいきと働き、心地よく笑顔で過ごせるよう支援する
- 2) 毎年工賃アップを図り、週4日以上通所の利用者工賃平均月額3万円の実現をめざす(就B)
- 3) この地域で障害のある人もない人も共に手をたずさえて生きていけるように、地元住民・町会・小中学校・福祉施設・病院等との地域交流をさらに進め共生社会をめざす
- 4) 地域の子供たちや高齢者の方たちの子ども食堂・おやつ会に協力、地域貢献を進める
- 5) 職員スタッフは、日々の支援が職員相互のチームワークによって成り立つことを十分に自覚し、互いに協力し合い連携し、一致団結した職員チームをめざす

2. 生産活動 年間売上目標1,800万円! やりがいと利用者工賃アップをめざす!

1) 事業別年間売上目標

木工	リサイクル	霊園清掃	薪割	お菓子作り	農園他	合計
430万円	520万円	522万円	92万円	72万円	164万円	1,800万円

- 2) 木工 : 「クルミル新宿都庁売店他」、「キッキプラス」の製品開発・販売促進に注力。はちべびギフトの安定生産をめざす。機械室では朝の唱和を実施、安全第一で取り組む
- 3) リサイクル、薪割 : 利用者・職員が協力し、安全第一で取り組む。地元集団回収に全面協力、古紙相場下落対策に新規作業を検討する
- 4) 霊園清掃作業 : 利用者さんの担当作業種類を増やす。誠実に取組み継続受注に繋げる
- 5) 生活介護室内作業 : 切手の仕分け・貼付け作業、生活介護オリジナル木工製品作り、パソコン作業、野菜販売、清掃作業等で自分に合う作業を選択。追加新規作業を検討
- 6) お菓子作り : 別館の調理室付作業場で衛生面に十分注意し、クレーンゼロをめざす。『無添加・体に優しいお菓子』をコンセプトに自家農園野菜・果物を取入れたオリジナル製品開発に取り組む

3. 利用者さんが元気で働けるように個別支援・健康管理の充実をめざす!

- 1) 専従のサービス管理責任者を中心に、グループホーム・相談支援事業所等と連携して個別支援を進める
- 2) 八王子保健生活協同組合城山病院の嘱託医による訪問相談(月1回)、PTによるリハビリ(月4回)を実施

4. 創作活動・行事・レクリエーション等、生活の中での楽しみを増やす!

- 1) 絵画、イラスト、彫刻等の作品展など積極的に応募し、発表の機会を増やす
- 2) 1年を通し利用者の皆さんが楽しめる行事を増やす(泊・日帰り旅行・ゲーム大会・カラオケ会・食事会・花火会・クリスマス会・祭り・(初)ミニお出かけ・ミニレク)
- 3) 昼休みを一緒に楽しく過ごす(将棋・ウノ・トランプ・ゲーム・卓球・散歩・談話等)
- 4) 昨年度から引き続き、利用者さんと共に敷地内花木植物図鑑の作成を進める

5. 地域交流を大切にし、町会・小中学校等地域と連携強化!

- 1) 元八2丁目・3丁目町会集団回収、城山小学校の木工教室・城山中学校の社会科体験実習・花壇の草取り等に積極的に協力、町会夏祭り、町会合同防災訓練等にも積極的に参加
- 2) 第11回ひのき工房祭を実施 [11月2日(土)予定]
- 3) 拓殖大学との「福学連携」で木工新商品開発に取り組む

2019年度 とぶきふねん 事業計画

現場代理人 東 直子

<2018年度総括>

- ①労働災害2件(裂傷事故1件、医療系廃棄物の針刺し事故1件)発生する。
- ②人間関係でギクシャクする場面があったので、「リーダー会議」を行い、問題点を出し合い連携して取り組む体制づくりを行い改善してきた。
- ③あわせて「職員会議」「メンバーミーティング」を行い、支援、作業の問題点等、議論する場を設けた。それによってメンバー、職員が自分の思い、意見を発言する場が出来、支援、業務の改善につながりつつある。
- ④市からの要請、要望に迅速に対応してきた結果、引き続き一定の評価を維持することが出来た。

<2019年度事業計画>

1.受託業務を質、作業効率共に100%完遂する

- ①メタウォーター(株)様と一体となって、市の要請に応え処理業務を完遂する。「報告・連絡・相談」をより密にし関係を強化していきます。
- ②「リーダー会議」「職員会議」「メンバーミーティング」を定期的で開催し、作業の問題点、作業マニュアルの見直し等、意見を出し合い議論し、全員が一体となって、安全作業、作業効率、作業の質の向上に努めます。

2.労災ゼロの実現

- ①「安全衛生会議」を全員参加で毎月稼働停止日に行い、ヒヤリハットの情報収集、危険個所の具体的な改善策を話し合います。併せて危険予知トレーニング(KYT)も行い職員、メンバーの気付きの教育も行っていきます。
- ②避難訓練、防火訓練、健康診断、予防接種を実施。災害等、万が一に備えた訓練と、個々の健康面での対策を実施します。
- ③針刺し事故等をなくすために、改善案を八王子市に提案し協議を続けていきます。
- ④職場の5S(整理・整頓・清潔・清掃・安全)の唱和も引き続き朝礼で行っていき、職員、メンバーの意識向上、意思統一を継続します。

3.障がい者にとってより良い就労の場を創る

- ①戸吹不燃物処理センターは、障害のある人達の就労の場として、露の会が八王子市から委託をいただいたものです。従って、障害のあるメンバーがいかに安全で安心して、気持ちよく働き続けられる職場を作っていくかが露の会に課せられた最大の課題です。
- ②日常業務の中で「報告・連絡・相談」を徹底し情報を共有化し、一致団結した職員集団を作ります。また定期的に親睦会を行い、職員、メンバー間のコミュニケーションを円滑にすることに取り組み、職場の活性化を図ります。
- ③メンバーの皆さんが安全、作業、清掃、親睦会等自ら積極的に発言し、提案し、意欲を持って参加し、やりがいのある職場作りを行います。
- ④職員はメンバーに対して、親切で、優しく、真心を持って支援していきます。
- ⑤障がい者の方たちの見学や就労体験の場として、いつでも受け入れが出来る様に準備していきます。又、露の会各施設と現場や職員会議の相互交流を行い、学び合いを進めます。

2018年度決算報告

資金収支内訳表

(単位:円)

勘定科目		本部	ひのき工房	ふきのとう拠点	ほふら八王子拠点	ころぼっくる拠点	合計	
事業活動による収支	取入	165 就労支援事業収入		83,923,171	1,858,633	28,176,337	113,958,141	
		01 木工事業収入		4,405,872	1,645,970		6,051,842	
		02 農産品事業収入		377,259			377,259	
		03 リサイクル事業収入		5,511,723	109,550		5,621,273	
		04 仕入品販売事業収入		613,214	94,413		707,627	
		05 生活介護事業収入		807,687			807,687	
		06 薪割事業収入		1,016,725			1,016,725	
		07 不燃物処理事業収入		65,739,600			65,739,600	
		09 食品容器製造事業収入				28,176,337	28,176,337	
		10 その他事業収入		272,691	8,700		281,391	
		11 霊園清掃事業収入		5,178,400			5,178,400	
		166 障害福祉サービス等事業収入		120,722,555	48,963,484	46,630,358	216,316,397	
		01 自立支援給付費収入		95,799,432	43,970,822	29,639,906	169,410,160	
		02 障害児施設給付費収入					31,666,619	
		03 利用者負担金収入		356,223	199,062	△686	967,418	
		05 特定費用収入		1,904,900	264,000	1,247,988	3,609,688	
		06 その他の事業収入		22,662,000	4,529,600	15,683,250	59,187,170	
		172 経常経費寄附金収入	327,235	40,000	20,000		51,200	
		01 寄附金収入	327,235	40,000	20,000		51,200	
		173 受取利息配当金収入	794	446	119	66	232	
		174 その他の収入	22,238	5,160,567	8,000	746,252	111,500	
		01 受入研修費収入		15,000			15,000	
		02 利用者等外給食費収入		2,513,070		348,500	2,861,570	
		03 雑収入	22,238	2,632,497	8,000	397,752	3,171,987	
		事業活動収入計(1)	350,267	209,846,739	50,850,236	75,553,013	48,747,490	385,347,745
	支出	121 人件費支出	9,080,223	71,841,132	30,610,927	37,253,527	40,546,458	189,332,267
		122 事業費支出		14,514,807	5,217,909	4,335,487	4,177,547	28,245,750
123 事務費支出		2,638,234	5,516,774	2,449,281	1,759,826	4,341,225	16,705,340	
124 就労支援事業支出			86,772,391	1,871,542	25,420,448		114,064,381	
128 支払利息支出		172,604	38,448		104,792	24,433	340,277	
129 その他の支出(利用者等外給食費支出)			647,254				647,254	
事業活動支出計(2)		11,891,061	179,330,806	40,149,659	68,874,080	49,089,663	349,335,269	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△11,540,794	30,515,933	10,700,577	6,678,933	△342,173	36,012,476		
施設整備等による収支	取入	176 施設整備等補助金収入			1,993,592		73,140	
		01 施設整備等補助金収入			1,993,592		73,140	
		177 施設整備等寄附金収入			200,000		100,000	
		179 固定資産売却収入			43,200		43,200	
		180 保険金収入		109,600			176,866	
		施設整備等収入計(4)		109,600	2,236,792		350,006	
	支出	131 設備資金借入金元金償還支出	936,000	672,000			889,103	
	132 固定資産取得支出	120,980	3,149,150	4,172,910			7,443,020	
		02 建物取得支出			2,147,040		2,147,040	
		06 車輦運搬具取得支出		2,689,610	2,025,870		4,715,480	
	07 器具及び備品取得支出	120,980	459,540			580,500		
	施設整備等支出計(5)	1,056,980	3,821,150	4,172,910		889,103		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△1,056,980	△3,711,550	△1,936,118		△539,097	△7,243,725		
その他の活動による収支	取入	182 長期運営資金借入金収入				2,626,196	2,626,196	
	191 サービス区分間長期貸付金回収収入		1,000,000				1,000,000	
	193 拠点区分間繰入金収入	7,807,000				2,000,000	9,807,000	
	194 サービス区分間繰入金収入	8,725,200				2,305,313	11,030,513	
	195 その他の活動による収入		74,500				74,500	
		その他の活動収入計(7)	16,532,200	1,074,500		4,931,509	24,538,209	
	支出	136 長期運営資金借入金元金償還支出		74,500		4,702,196	4,776,696	
	139 積立資産支出		14,294,000				14,294,000	
		03 工賃変動積立資産支出		1,094,000			1,094,000	
		04 施設整備等積立資産支出		13,000,000			13,000,000	
		05 設備等整備積立資産支出		200,000			200,000	
	145 サービス区分間長期借入金返済支出	1,000,000					1,000,000	
	147 拠点区分間繰入金支出	2,000,000		4,651,000	2,640,000	516,000	9,807,000	
	148 サービス区分間繰入金支出		8,725,200		2,305,313		11,030,513	
149 その他の活動による支出	270	1,940,871		1,147		1,942,288		
	その他の活動支出計(8)	3,000,270	25,034,571	4,851,000	9,648,656	516,000		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	13,531,930	△23,960,071	△4,851,000	△4,717,147	1,484,000	△18,312,288		
予備費支出(10)								
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	934,176	2,844,312	4,113,459	1,961,786	602,730	10,456,463		
前期未支払資金残高(12)	5,398,616	42,371,482	14,649,130	10,397,896	3,747,580	76,564,704		
当期末支払資金残高(11)+(12)	6,332,792	45,215,794	18,762,589	12,359,682	4,350,310	87,021,167		

事業活動内訳表

(単位:円)

勘定科目		本部	ひのき工房拠点	ふきのとう拠点	ぼぶら八王子拠点	ころぼっくる拠点	合計	
サービス活動増減の部	収益							
	085 就労支援事業収益		83,923,171	1,858,633	28,176,337		113,958,141	
	01 木工事業収益		4,405,872	1,645,970			6,051,842	
	02 農産品事業収益		377,259				377,259	
	03 リサイクル事業収益		5,511,723	109,550			5,621,273	
	04 仕入品販売事業収益		613,214	94,413			707,627	
	05 生活介護事業収益		807,687				807,687	
	06 薪割事業収益		1,016,725				1,016,725	
	07 不燃物処理事業収益		65,739,600				65,739,600	
	09 食品容器製造事業収益				28,176,337		28,176,337	
	10 その他事業収益		272,691	8,700			281,391	
	11 霊園清掃事業収益		5,178,400				5,178,400	
	086 障害福祉サービス等事業収益		120,722,555	48,963,484	46,630,358	48,584,558	264,900,955	
	01 自立支援給付費収益		95,799,432	43,970,822	29,699,806		169,470,060	
	02 障害児施設給付費収益					31,666,619	31,666,619	
	03 利用者負担金収益		356,223	199,062	△686	412,819	967,418	
	05 特定費用収益		1,904,900	264,000	1,247,988	192,800	3,609,688	
	06 その他の事業収益		22,662,000	4,529,600	15,683,250	16,312,320	59,187,170	
	091 経常経費寄附金収益	327,235	367,235	20,000		51,200	765,670	
	サービス活動収益計(1)	327,235	205,012,961	50,842,117	74,806,695	48,635,758	379,624,766	
	費用							
	021 人件費	9,080,223	80,921,355	30,610,927	37,253,527	40,546,458	198,412,490	
	022 事業費		14,514,807	5,217,909	4,335,487	4,177,547	28,245,750	
023 事務費	2,638,234	8,155,008	2,449,281	1,759,826	4,341,225	19,343,574		
024 就労支援事業費用		86,772,391	1,871,542	25,420,448		114,064,381		
01 就労支援事業販売原価		86,772,391	1,871,542	25,420,448		114,064,381		
028 減価償却費	142,920	10,545,457	2,222,394	614,284	2,801,312	16,326,367		
029 国庫補助金等特別積立金取崩額		△7,587,274	△1,610,501	△400,000	△1,954,506	△11,552,281		
サービス活動費用計(2)	11,861,377	193,321,744	40,761,552	68,983,572	49,912,036	364,840,281		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△11,534,142	11,691,217	10,080,565	5,823,123	△1,276,278	14,784,485		
サービス活動増減の部	収益							
	094 受取利息配当金収益	794	1,240	119	66	232	2,451	
	099 その他のサービス活動外収益	22,238	5,182,805	8,000	746,252	111,500	6,070,795	
	01 受入研修費収益		15,000				15,000	
	02 利用者等外給食収益		2,513,070		348,500		2,861,570	
	04 雑収益	22,238	2,654,735	8,000	397,752	111,500	3,194,225	
	サービス活動外収益計(4)	23,032	5,184,045	8,119	746,318	111,732	6,073,246	
	費用							
	033 支払利息	172,604	211,052		104,792	24,433	512,881	
	038 その他のサービス活動外費用	270	655,595		1,147		657,012	
01 利用者等外給食費		647,254				647,254		
03 雑損失	270	8,341		1,147		9,758		
サービス活動外費用計(5)	172,874	866,647		105,939	24,433	1,169,893		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△149,842	4,317,398	8,119	640,379	87,299	4,903,353		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△11,683,984	16,008,615	10,088,684	6,463,502	△1,188,979	19,687,838		
特別増減の部	収益							
	100 施設整備等補助金収益			1,993,592		73,140	2,066,732	
	01 施設整備等補助金収益			1,993,592		73,140	2,066,732	
	101 施設整備等寄附金収益			200,000		100,000	300,000	
	105 保険料収益		109,600			176,866	286,466	
	107 拠点区分間繰入金収益	7,807,000	7,807,000			2,000,000	17,614,000	
	108 サービス区分間繰入金収益	8,725,200	8,725,200		2,305,313		19,755,713	
	特別収益計(8)	16,532,200	16,641,800	2,193,592	2,305,313	2,950,006	40,022,911	
	費用							
	041 器具及び備品売却損・処分損		33,261				33,261	
042 国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)		△22,785				△22,785		
043 国庫補助金等特別積立金積立額			1,845,592		6,200	1,851,792		
047 拠点区分間繰入金費用	2,000,000	2,000,000	4,651,000	2,640,000	516,000	11,807,000		
048 サービス区分間繰入金費用		8,725,200		2,305,313		11,030,513		
特別費用計(9)	2,000,000	10,735,676	6,496,592	4,945,313	522,200	24,699,781		
特別増減差額(10)=(8)-(9)	14,532,200	5,906,124	△4,303,000	△2,640,000	1,827,806	15,323,130		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	2,848,216	21,914,739	5,785,684	3,823,502	638,827	35,010,968		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	11,751,436	62,127,907	25,065,600	5,548,272	13,125,462	117,618,677	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	14,599,652	84,042,646	30,851,284	9,371,774	13,764,289	152,629,645	
	053 その他の積立金積立額(16)		14,294,000				14,294,000	
	01 工賃変動積立金積立額		1,094,000				1,094,000	
	02 施設整備等積立金積立額		13,000,000				13,000,000	
03 設備等整備積立金積立額		200,000				200,000		
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	14,599,652	69,748,646	30,851,284	9,371,774	13,764,289	138,335,645		

貸借対照表内訳表

(単位:円)

勘定科目	本部	ひのき工房	ふきのとう拠点	ぼぶら八王子拠点	ころぼっくる拠点	合計
001 流動資産	36,309,224	79,150,216	21,341,610	17,854,854	10,247,488	164,903,392
01 現金預金	10,199,102	57,133,867	11,480,380	10,260,346	3,461,278	92,534,973
03 事業未収金		16,184,034	9,853,500	4,747,000	6,700,222	37,484,756
04 未収金		5,487,520		2,745,748	85,988	8,319,256
15 立替金	26,110,122	229,795	7,730	101,760		26,449,407
26 仮払金		115,000				115,000
002 固定資産	89,807,300	109,420,284	33,250,859	1,638,092	24,338,237	258,454,772
001 基本財産	78,421,419	77,755,088	15,817,078		21,266,618	193,260,203
01 土地	78,421,419					78,421,419
02 建物		77,755,088	15,817,078		21,266,618	114,838,784
002 その他の固定資産	11,385,881	31,665,196	17,433,781	1,638,092	3,071,619	65,194,569
01 土地			10,876,000			10,876,000
04 構築物		2,111,820	3,225,734		2,234,532	7,572,086
05 機械及び装置		2,301,870	2			2,301,872
06 車輛運搬具		4,573,065	3,224,632	1,638,092	829,079	10,264,868
07 工具器具備品	118,441	2,015,421	107,413		8	2,241,283
11 ソフトウェア	117,000					117,000
17 サービス区分間長期貸付金		3,000,000				3,000,000
18 退職給付引当資産	11,110,440					11,110,440
19 工賃変動積立資産		2,963,000				2,963,000
20 施設整備等積立資産		14,500,000				14,500,000
22 設備等整備積立資産		200,000				200,000
23 差入保証金					8,000	8,000
25 その他の固定資産	40,000					40,000
資産の部合計	126,116,524	188,570,500	54,592,469	19,492,946	34,585,725	423,358,164
011 流動負債	30,912,432	34,975,422	2,579,021	7,571,172	6,651,610	82,689,657
02 事業未払金		174,032	94,945			268,977
03 その他の未払金	4,990,260	17,347,361	163,000	1,007,339	314,560	23,822,520
06 1年以内返済予定設備資金借入金	936,000	672,000			754,432	2,362,432
07 1年以内返済予定長期運営資金借入金				2,076,000		2,076,000
13 1年以内支払予定長期未払金		369,000				369,000
14 未払費用	14,235,165	14,989,029	2,321,076	4,199,833	5,582,618	41,327,721
15 預り金	525,571	694,000		288,000		1,507,571
16 職員預り金	9,801,916					9,801,916
17 前受金	423,520	730,000				1,153,520
012 固定負債	21,404,440	710,000		1,350,000		23,464,440
01 設備資金借入金	7,294,000	710,000				8,004,000
02 長期運営資金借入金				1,350,000		1,350,000
07 サービス区分間長期借入金	3,000,000					3,000,000
08 退職給付引当金	11,110,440					11,110,440
負債の部合計	52,316,872	35,685,422	2,579,021	8,921,172	6,651,610	106,154,097
013 基本金	29,275,000	12,805,770	7,898,325			49,979,095
01 第一号基本金	29,275,000	12,805,770	7,898,325			49,979,095
014 国庫補助金等特別積立金	29,925,000	67,267,314	13,263,839	1,200,000	14,169,826	125,825,979
015 その他の積立金		17,663,000				17,663,000
01 工賃変動積立金		2,963,000				2,963,000
02 施設整備等積立金		14,500,000				14,500,000
03 設備等整備積立金		200,000				200,000
016 次期繰越活動増減差額	14,599,652	55,148,994	30,851,284	9,371,774	13,764,289	123,735,993
02 (うち当期活動増減差額)	2,848,216	19,068,523	5,785,684	3,823,502	638,827	32,162,752
純資産の部合計	73,799,652	152,885,078	52,013,448	10,571,774	27,934,115	317,204,067
負債及び純資産の部合計	126,116,524	188,570,500	54,592,469	19,492,946	34,585,725	423,358,164

※決算内容については、露の会ホームページにも掲載しております。

露の会だよりに掲載した決算データは、露の会内部の取引も表示しております。

Hp で公開した決算データは、露の会内部の取引を消去した数字となっております。

2019年度予算

2019年度資金収支予算表

(単位:円)

勘定科目		本部	ひのき工房	ふきのとう	ぼぶら八王子	ころぼっくる	合計	
事業活動による収支	165 就労支援事業収入		86,800,000	2,200,000	29,938,000		118,938,000	
	01 木工事業収入		4,300,000	2,000,000			6,300,000	
	02 農産品事業収入		360,000				360,000	
	03 リサイクル事業収入		5,200,000	100,000			5,300,000	
	04 仕入品販売事業収入		500,000	100,000			600,000	
	05 生活介護事業収入		200,000				200,000	
	06 薪割事業収入		920,000				920,000	
	07 不燃物処理事業収入		68,800,000				68,800,000	
	08 クッキー販売事業収入		720,000				720,000	
	09 食品容器製造事業収入					29,938,000	29,938,000	
	10 その他事業収入		300,000				300,000	
	11 園圃清掃事業収入		5,500,000				5,500,000	
	166 障害福祉サービス等事業収入		111,020,000	45,990,000	49,379,000	44,625,691	251,014,691	
	01 自立支援給付費収入		90,100,000	41,500,000	33,408,000		165,008,000	
	02 障害児施設給付費収入					29,305,434	29,305,434	
	03 利用者負担金収入		340,000	190,000		340,000	870,000	
	05 特定費用収入		1,834,000	300,000	1,258,000	190,000	3,582,000	
	06 その他の事業収入		18,746,000	4,000,000	14,713,000	14,790,257	52,249,257	
	172 経常経費寄附金収入	328,000	102,000	10,000		40,000	480,000	
	01 寄附金収入	328,000	102,000	10,000		40,000	480,000	
	173 受取利息配当金収入		200				200	
	174 その他の収入	23,000	3,680,000	8,000	580,000	100,000	4,371,000	
	01 受入研修費収入		10,000				10,000	
	02 利用者等外給食費収入		2,360,000		290,000		2,650,000	
	03 雑収入	23,000	1,290,000	8,000	290,000	100,000	1,711,000	
	事業活動収入計(1)	351,000	201,582,200	48,208,000	79,897,000	44,765,691	374,803,891	
	支出	121 人件費支出	9,468,000	75,332,000	33,509,000	38,816,000	38,297,188	195,422,188
122 事業費支出			14,889,500	5,830,000	4,386,000	3,649,000	28,754,500	
123 事務費支出		3,436,000	5,825,000	2,790,000	2,040,000	3,427,600	17,518,600	
124 就労支援事業支出			89,584,320	2,275,000	28,766,000		120,625,320	
128 支払利息支出		155,000	50,000		112,000	40,000	357,000	
129 利用者等外給食費支出			897,000				897,000	
事業活動支出計(2)		13,059,000	186,517,820	44,404,000	74,120,000	45,413,788	363,514,608	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△12,708,000	15,064,380	3,804,000	5,777,000	△648,097	11,289,283	
施設整備等による収支		176 施設整備等補助金収入			3,500,000			3,500,000
		施設整備等収入計(4)			3,500,000			3,500,000
	131 設備資金借入金元金償還支出	936,000	672,000			561,000	2,169,000	
	132 固定資産取得支出		200,000	5,000,000			5,200,000	
	02 建物取得支出			5,000,000			5,000,000	
	07 器具及び備品取得支出		200,000				200,000	
施設整備等支出計(5)	936,000	872,000	5,000,000		561,000	7,369,000		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△936,000	△872,000	△1,500,000		△561,000	△3,869,000		
その他の活動による収支	191 サービス区分間長期貸付金回収収入		1,000,000				1,000,000	
	193 拠点区分間繰入金収入	6,997,000				2,000,000	8,997,000	
	194 サービス区分間繰入金収入	9,558,920					9,558,920	
	その他の活動収入計(7)	16,555,920	1,000,000			2,000,000	19,555,920	
	136 長期運営資金借入金元金償還支出				2,080,000		2,080,000	
	139 積立資産支出		3,830,000				3,830,000	
	03 工賃変動積立資産支出		830,000				830,000	
	04 施設整備等積立資産支出		3,000,000				3,000,000	
	146 サービス区分間長期借入金返済支出	1,000,000					1,000,000	
	147 拠点区分間繰入金支出	2,000,000		3,701,000	2,780,000	516,000	8,997,000	
	148 サービス区分間繰入金支出		9,558,920				9,558,920	
149 その他の活動による支出		542,800		2,000		544,800		
その他の活動支出計(8)	3,000,000	13,931,720	3,701,000	4,862,000	516,000	26,010,720		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	13,555,920	△12,931,720	△3,701,000	△4,862,000	1,484,000	△6,454,800		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)	△88,080	1,260,660	△1,397,000	915,000	274,903	965,483		
前期末支払資金残高(12)	6,332,792	45,215,794	18,762,589	12,359,682	4,350,310	87,021,167		
当期末支払資金残高(11)+(12)	6,244,712	46,476,454	17,365,589	13,274,682	4,625,213	87,986,650		

後援会だより

第17回 蕨の会、後援会総会開催

去る6月7日(金)「ひのき工房」において利用者、関係者、職員の方々の参加を得て、開催されました。提案した議事の①活動報告②決算報告③役員④新年度の取組みと予算計画についても全会一致で承認されました。主な提案内容は次の通りです。

平成30年度の活動報告

- *施設支援として、全労済団体保険一部負担をしました。
- *施設改修工事に対し、完了した「ころぼっくる」、今年度改修工事をした「ふきのとう」に寄付をしました。
- *施設利用のご家族を対象にセミナー「障がい者が地域で生きることの理想と現実」をテーマに、日本福祉大学の綿先生にご講演いただきました。
- *各施設で開催される行事に役員が積極的に参加しました。
ひのき工房まつりの販売に協力しました。
- *蕨の会本部と連携して、後援会活動に努めました。

「蕨の会後援会」平成29年度決算報告		
平成29年4月1日～平成30年3月31日		
科目	収入	摘要
会費	488,000	会員数 79名
繰越金	1,019,720	
計	1,507,720	
科目	支出	摘要
施設援助費	600,000	全労済掛金 300,000 施設監修援助費 ふきのとう 200,000 ころぼっくる 100,000
振込手数料	8,804	口座徴収料金
通信費	284	領収書送付
会議費	11,382	総会
セミナー開催費	64,913	後援会主催
消耗品費	267	事務用品
雑費	0	
予備費	1,600	セミナー印刷代
繰越金	820,470	
計	1,507,720	

「蕨の会後援会」平成30年度予算		
平成31年4月1日～令和2年3月31日		
科目	収入予算額	摘要
会費	450,000	会員数 79名
繰越金	820,470	
計	1,270,470	
科目	支出	摘要
施設援助費(合計)	300,000	ころぼっくるの行事費を含む
振込手数料	15,000	口座徴収料金
通信費	500	領収書送付
会議費	20,000	総会
消耗品費	5,000	事務用品
雑費	5,000	印字サービス
予備費	100,000	
小計	445,500	
繰越金	824,970	
計	1,270,470	

令和元年度の取組みと予算

- *施設支援として、全労済団体保険一部負担の支援として支出します。
- *後援会の会員を増やす方法や、今後の支援事業対応等について職員や利用者の皆様から早急に伺う機会を計画する予定です。
- *各施設で行う行事に参加していきます。
- *後援会の周知活動に努めます。
- *蕨の会本部及び各施設職員の方々と連携して、活動しやすい後援会活動に努めます。

多大なご支援ありがとうございます

平成30年度後援会会費を納入して頂き、心から厚く御礼申し上げます。
この会費は「ふきのとう」「ひのき工房」「ころぼっくる」「ぽぶら八王子」の四施設の活動に有効に使わせて頂きます。ご支援いただいた皆様のお名前を掲載させていただきます。

期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日 (敬称略・順不同)

南廣子	市崎建助	青木勝美	天野幸子
荒井盛雄	伊藤要子	岩澤六夫	上巳徹也
遠藤秀男	大場多喜男	大神田芳子	大木啓史
大友のり子	柿下豊一	柿下良治	加藤スミ子
上條順子	川幡公子	木崎徳太郎	北川尚和
北出義則	楠田道子	熊谷弘之	河野良子
小関秀規	小峰貴美子	斎賀勇	坂本清
佐藤修	佐藤一平	佐藤一輝	佐藤大介
前島みち子	清水真理	清水茂子	下楠菌アヤ子
函師学	山本武志	関裕子	関口大輝
園田麻鈴	瀬沼友啓	曾根崎和夫	高橋和子
高橋巖	山内松雄	玉井良侍	中西安明
内藤美千子	八巻富子	西陸めぐみ	西川治
吉川忠克	根本威	野中俊昌	村松昌男
橋本正秋	浜島渉	原田フミ	肥後伸一
平松廣	株式会社文秀堂	堀内紘子	本堂公子
本山瑞稀	百崎道子	森藤徳生	山口智
株式会社三和設計	介護センター ゆうみん 前田和江	株式会社 愛和セレモニー	(有)橋本オートサービス
多摩 D. I. Y 倶楽部 事務局 中島清	(株)深光園 代表取締役社長 瀧柳嘉市	須谷二郎 (戸吹町会会長)	株式会社 山本工務店 代表取締役 山本周広
西東京事務機(株)			

「落の会 後援会」への会費納入のお願い
年会費 一口 1,000円 1口以上
お振込み先/郵便口座 0150-8-194227
口座加入者 落の会 後援会
(振込用紙が紛失した場合は上記にお願いします)

令和元年度の役員は次の通りです。宜しくお願いします。

会長	山本 武志	副会長	佐藤 悦子
会計	平松 廣	事務局	遠藤 秀男
幹事	木崎 真由美	百崎 道子	柴山 弘樹
	依田 圭司		
会計監査	前田 和江	大神田 芳子	

御 礼

<子ども食堂支援>

皆様の御支援のおかげで、平成29年12月に開所した“地域社会で運営する城山小地区子ども食堂”も毎月食事会とおやつ会を実施、食事会は、毎月100名前後の子ども達が参加しています。

露の会(ひのき工房)も運営を担う事務局の一員として参加しています。その運営費は、地域社会の皆様の御寄附と賛助会費によって賄っておりますが、ひのき工房とリボーンのスタッフ、メンバーからたくさんの賛助会費をいただいております。本当にありがとうございます。

<露の会へご寄附いただいた皆様>

この一年は、私どもから御寄附のお願いは致しませんでした。以下の方々から暖かい御寄附をいただきました。

ふきのとう	伊藤 保忠、松岡 千晶、露の会後援会
ころぼっくる	谷口 孝子、露の会後援会
ひのき工房	有) 蔦高橋工業、杉寄 きよ子、高橋 和子、荒井 盛雄 遠藤 秀男、元八王子二丁目町会、
露の会本部	リボン所長 西條 純子、今岡 涼子、高津 福江 露の会後援会

本当にありがとうございました。

日常におみやげなど物品の御寄附もいただいております。いろいろな形での御支援に心から感謝申し上げます。

理事長 岩澤 六夫

編集後記(本部 渡辺)

露の会は、設立後18年となり今年の4月で職員数が100名を超える“大企業”になりました。利用者の皆さんも150名を超え、より細やかな支援を行うために、階層別の職員研修を計画的に実施し施設間の交流も進むようになりました。また、利用者の皆さんが事故に合わないよう、ヒヤリハットの施設間の共有を行うなど、啓発活動にも努めております。

利用者の皆さんが安心して暮らせるように、これからも活動してまいりますので、利用者のご家族様、ご支援を頂いている後援会会員の皆様、業務を受託させていただいている八王子市様、株式会社エフピコ様、企業の皆様、更には、地域の皆様の引き続きご支援、ご意見をいただけますようよろしくお願い致します。

☆HPにも詳細な資料を掲載しておりますのでご覧ください。

TEL 042-667-2158 FAX 042-667-2168 e-mail fukinokaihonbu@yahoo.co.jp

露の会 HP: <http://fukinokai-swc.jimdo.com>

※管理不十分で送付された皆様には誠に申し訳ございません。お詫びいたします。

ぽぷら八王子 トピックス

2018年6月に長野県でフロアホッケーの試合が行われ、準優勝！
諏訪地方を観光。諏訪大社にお参りました！



草間工場長、小野工場長、お世話になりました！



ひのき工房

「拓大×LDF」の共同研究で
ひのき工房の製品開発始動！！



切手作業など
毎日楽しくやっています



大人気！クッキー&パウンドケーキ
販売場所拡大中！！



とぎきふねんの
作業風景

トピックス

碓氷峠 トロッコ列車に乗車♪



天候に負けず
毎日頑張っています



キレイな霊園を
目指して頑張っています



🐼 ひのき工房の木工製品です 🐼



編集人

発行人

社会福祉法人 蔭の会

郵便番号一五七―〇〇七二
東京都世田谷区祖師谷三丁目一―二七―〇二
障害者団体定期刊行物協会

● ふきのとうの木工製品です ●



定価一〇〇円
(会費に含まれます)